

利用実証実施報告書

平成 27 年 4 月 6 日

テーマ	国土交通省 G空間社会における山岳遭難防止対策モデル構築事業
実証機関 (共同機関)	長野県G空間プロジェクト協議会 (長野県企画振興部情報政策課、(株)豆蔵、ジエイエムテクノロジー(株))
実証時期	2014年9月～2015年3月
実証場所	長野県 北アルプスエリア(気温-10℃以下の寒冷地屋外で実施)
受信信号	・GPS : L1C/A、 ・QZS : L1C/A、L1-SAIF
使用受信機	QZ1
実施内容	<p>●実証概要</p> <p>山岳地帯において、GPS のみと準天頂衛星を用いた場合とで測位精度の比較・評価を行い、準天頂衛星のアプリケーション適用可否を検証する。</p> <p>「登山者支援」アプリをインストールした Android 端末と「QZ1」受信機を持ち、既定のルートを移動する。</p> <p>→ 2014/12/21 から 2015/1/25 にかけて、燕岳、西穂高、焼岳等北アルプスにて、信州登山案内人等の冬山のプロフェッショナルに依頼し、実施した。</p> <p>●実証の確認及び評価 (利用効果の定量的評価方法)</p> <p>・移動ルートのアプリケーションデータおよび NMEA データを取得し、準天頂衛星の有無で測位精度の比較をする。</p> <p>→ 各日程において、非測位、測位 (L1-CA)、補強測位 (L1-SAIF) の状況がログにより確認できた。</p>